安土桃山時代

名前

問1　織田信長が楽市楽座を断行した背景として、最もふさわしい理由はどれですか。当時の経済状況や、信長が目指した国家運営の仕組みに触れながら考えなさい。（2024年 静岡県公立入試 類似）

1. 仏教勢力などの宗教団体が持つ特権を保護し、宗教的な権威を利用して領国内の平穏を保とうとしたため。
2. 特定の商人が富を独占することを防ぎ、市場を活性化させることで、自身の軍事力や政治力の基盤となる豊かな城下町を築くため。
3. 商人に武器の製造を依頼し、それを独占的に買い取ることで、他の戦国大名に対して軍事的な優位性を保つため。
4. 農民を商人として活用し、農閑期に商売を行わせることで、領民全体の収入を増やして一揆を防止するため。

問2　戦国時代の鉄砲の普及は、武士だけでなく農民など一般の民衆にも影響を及ぼしました。その状況を示す事例として正しいものはどれですか。（2026年 群馬県公立入試 類似）

1. 鉄砲の運用には高度な修行が必要だったため、武士以外の階級が手にすることは禁じられていた。
2. 鉄砲はあくまで狩猟用の道具としてのみ農村に広まり、争いに使われることはなかった。
3. 鉄砲の製造コストが高すぎたため、農民が鉄砲を所有して一揆を起こすことは不可能だった。
4. 農民が鉄砲を手にして自衛や組織化を行い、山城国一揆などの武装蜂起において主要な軍事力となった。

問3　安土桃山時代の文化において、堺の商人出身であり、織田信長や豊臣秀吉に仕えて「わび茶」の作法を完成させた人物は誰か。（2021年 大分県公立入試 類似）

1. 狩野永徳
2. 千利休
3. 阿国
4. 雪舟

問4　安土桃山時代の文化が、それ以前の室町時代の文化（東山文化など）と比較して、非常に豪華で壮大なものへと変化した背景として最も適切な理由はどれですか。（2022年 愛媛県公立入試 類似）

1. 全国統一を目指す大名たちが自らの権威を誇示し、新興の豪商たちが活発な経済活動を行ったため。
2. 禅宗の教えが社会全体に広まり、簡素で控えめな美意識が理想とされたため。
3. 鎖国体制が完成し、日本独自の国風文化が庶民の間で成熟したため。
4. 遣唐使によってもたらされた大陸の進んだ文化が、貴族の間で洗練されたため。

問5　16世紀後半、織田信長が築いた城においてその形式が確立された、日本の城の中心部に位置する、展望や防御を目的とした最も高い塔状の建築物の名称として適切なものを選びなさい。（2024年 滋賀県公立入試 類似）

1. 石垣
2. 本丸
3. 天守
4. 櫓

問6　日本の歴史において貨幣は時代とともに変化しました。日本初の本格的な銅銭とされる「和同開珎」、平氏による日宋貿易などを通じて大量に流入した「宋銭」、そして戦国時代から安土桃山時代にかけて流通した「石州丁銀（銀貨）」を、使われ始めた時期が古い順に並べたものを選びなさい。（2022年 島根県公立入試 類似）

1. 和同開珎 → 宋銭 → 石州丁銀
2. 宋銭 → 和同開珎 → 石州丁銀
3. 石州丁銀 → 宋銭 → 和同開珎
4. 和同開珎 → 石州丁銀 → 宋銭

問7　15世紀末、スペインの援助を受け、大西洋を西へ航海してカリブ海の島々に到達し、そこをインドの一部であると信じた人物は誰ですか。（2022年 千葉県公立入試 類似）

1. マゼラン
2. コロンブス
3. バスコ・ダ・ガマ
4. マルコ・ポーロ

問8　室町時代に京都を主な舞台として発生し、その後の社会に大きな影響を与えた「応仁の乱」に関する説明として最も適切なものを選びなさい。（2015年 鳥取県公立入試 類似）

1. 元軍による二度にわたる侵攻に対して幕府が御家人を動員した戦いであり、恩賞の不足から鎌倉幕府が衰退するきっかけとなった。
2. 源氏と平氏が政権をめぐって争った戦乱であり、勝利した源頼朝が鎌倉に幕府を開く直接のきっかけとなった。
3. 織田信長が足利義昭を追放したことで室町幕府が滅亡し、近世に向けた天下統一の動きが加速した。
4. 将軍の跡継ぎ問題や守護大名の対立が原因で始まり、戦国大名が各地で実力により領地を支配する「下克上」の風潮を強める要因となった。

問9　16世紀に行われた天正遣欧少年使節の派遣について、その目的や果たした役割として最も適切な説明はどれですか。（2019年 神奈川県公立入試 類似）

1. 日本国内での布教を有利にするため、ローマ教皇の権威を背景にキリスト教の地位を高めること。
2. 徳川幕府が鎖国を完成させるため、海外におけるキリスト教の勢力を調査すること。
3. モンゴル帝国のフビライに仕えたマルコ・ポーロのように、外交官として長期間滞在すること。
4. 浮世絵などの日本の錦絵を輸出し、その売上を戦国大名の軍事費に充てること。

問10　織田信長が安土城の城下町などで実施した「楽市・楽座」の目的と内容について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2026年 神奈川県公立入試 類似）

1. 城下町の経済的発展を促すため、独占的な商人の特権であった「座」を廃止し、自由な商取引を認めた。
2. キリスト教の布教を制限するため、特定の商人による貿易のみを認め、各地に関所を設置して物流を統制した。
3. 農民の反乱を防ぐため、農村から武器を没収し、身分による住み分けを明確にすることで兵農分離を進めた。
4. 幕府の財政を安定させるため、有力な商人に「株仲間」という独占的な特権を与えて営業税を徴収した。

問11　京都府福知山市にあるマンホールの蓋には、明智光秀が築城したとされる福知山城が描かれています。この明智光秀がかつて主君として仕えており、天下統一を目前にしながらも、1582年に本能寺で光秀の謀反により自害した人物は誰か。（2018年 京都府公立入試 類似）

1. 豊臣秀吉
2. 徳川家康
3. 足利義昭
4. 織田信長

問12　豊臣秀吉が発令した、諸国の百姓が刀、脇指、弓、槍、鉄砲といった武器を持つことを厳しく禁止し、これらを没収することを定めた法令の名称と、その法令が目指した目的の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2021年 大阪府公立入試 類似）

1. 武家諸法度 — 大名同士の勝手な婚姻を禁じ、軍事力を制限するため
2. 刀狩令 — 農民による一揆を防止し、農業に専念させるため
3. 慶安の御触書 — 農民の日常生活を細かく規定し、年貢を確実に徴収するため
4. 禁中並公家諸法度 — 天皇や公家の行動を統制し、朝廷の政治関与を防ぐため

問13　豊臣秀吉が全国的に実施した土地調査（太閤検地）において、それぞれの土地から予想される米の収穫量を表すために用いられた、米の容積を単位とする基準を何といいますか。（2022年 山形県公立入試 類似）

1. 貫高
2. 地価
3. 石高
4. 反別

答え合わせ・解説

問1	答え 2 特定の商人が富を独占することを防ぎ、市場を活性化させることで、自身の軍事力や政治力の基盤となる豊かな城下町を築くため。	信長は、中世的な特権やしがらみ（座など）を排除し、実力のある者が自由に活動できる環境を整えることで、富を自身の城下町に集中させようとしました。経済的な繁栄は、強力な軍隊を維持するための財政基盤となり、天下統一に向けた大きな原動力となりました。
問2	答え 4 農民が鉄砲を手にして自衛や組織化を行い、山城国一揆などの武装蜂起において主要な軍事力となった。	当時の古い絵図などの資料からは、農民が鉄砲を手に持って武装し、一揆などの軍事行動に参加していた様子が描かれています。鉄砲の普及は、専門の訓練を積んだ武士以外の層でも高い殺傷能力を持つことを可能にし、社会全体の勢力図や武装のあり方に大きな変化をもたらしました。
問3	答え 2 千利休	堺の有力な商人であったこの人物は、茶の湯に精神的な深みを持たせた「わび茶」を大成させました。時の権力者である豊臣秀吉の側近としても活躍し、文化面だけでなく政治の世界でも大きな影響力を持っていたことが特徴です。
問4	答え 1 全国統一を目指す大名たちが自らの権威を誇示し、新興の豪商たちが活発な経済活動を行ったため。	文化の担い手が、それまでの公家や僧侶から、新たに台頭した戦国大名や豊かな豪商（堺や博多の商人など）へと移り変わったことが大きな要因です。天下人となった織田信長や豊臣秀吉は、巨大な城郭を築くことで自らの政治的権力を誇示しようとし、それに伴って芸術作品も大規模で華美なものへと変化しました。簡素さを重んじる禅宗の影響が強いのは室町時代の文化です。
問5	答え 3 天守	織田信長が安土城で完成させたこの建築形式は、軍事的な拠点としての機能だけでなく、城主の権威を誇示する象徴的な役割も果たしました。選択肢にある「櫓（やぐら）」は城壁に設けられた矢を射るための小規模な建物を、「本丸」は城の最も重要な中心区画そのものを指します。これらは天守を支える、あるいは天守が位置する要素ですが、建物そのものの名称は天守です。
問6	答え 1 和同開珎 → 宋銭 → 石州丁銀	708年に唐の貨幣をモデルとして和同開珎が発行されました（古代）。その後、平安時代末期から鎌倉時代にかけては国内での鋳造が衰退したため、中国から宋銭などの輸入銭が大量に持ち込まれ、流通しました（中世）。戦国時代から安土桃山時代になると、石見銀山などの開発により石州丁銀などの銀貨が作られ、高額取引や貿易に用いられるようになりました（近世への移行期）。
問7	答え 2 コロンブス	スペインのイサベル女王の援助を受けたコロンブスは、地球球体説に基づき、大西洋を西回りに航海することでアジアへ到達しようとしました。1492年に現在のカリブ海にある島々に到達しましたが、彼はそこをアジアの一部（インディアス）であると誤認していました。同時代のポルトガルの支援を受けた航海者たちとは、目指したルートが異なります。
問8	答え 4 将軍の跡継ぎ問題や守護大名の対立が原因で始まり、戦国大名が各地で実力により領地を支配する「下克上」の風潮を強める要因となった。	応仁の乱は、室町幕府の第8代将軍・足利義政の継嗣問題や、有力守護大名である細川氏と山名氏の対立などが複雑に絡み合って発生しました。この戦乱により幕府の権威は完全に失墜し、地方では実力のある者が上の者を倒して勢力を広げる「下克上」が一般的となり、約100年続く戦国時代へと移行しました。他の選択肢は、蒙古襲来、治承・寿永の乱（源平の争乱）、室町幕府の滅亡に関する説明です。
問9	答え 1 日本国内での布教を有利にするため、ローマ教皇の権威を背景にキリスト教の地位を高めること。	キリシタン大名たちは、少年たちがローマ教皇に謁見し、日本が文明化された高い知性を持つ国であることを示すことで、ヨーロッパからの布教支援を強化しようと考えました。また、少年たちは帰国時に印刷機などの当時の最新技術を日本に伝え、活字印刷による書籍の出版（キリシタン版）など、東西文化の交流に大きな役割を果たしました。
問10	答え 1 城下町の経済的発展を促すため、独占的な商人の特権であった「座」を廃止し、自由な商取引を認めた。	戦国時代、それまでの商業は「座」と呼ばれる特権団体が独占しており、新しく商売を始める者には障壁となっていました。信長は自らの領地の経済を活性化させるため、これらの特権を廃止して誰でも自由に商売ができるようにしました。これにより、城下町に多くの商人が集まり、物資が豊富に流通するようになりました。選択肢にある「株仲間」は江戸時代の中期に幕府が認めた独占組織であり、楽市・楽座とは正反対の性格を持つため注意が必要です。
問11	答え 4 織田信長	明智光秀は織田信長の有力な家臣であり、丹波国の攻略を任された際に現在の福知山市に城を築きました。しかし、信長が安土桃山時代に天下統一を目指す過程で、光秀は京都の本能寺にいた信長を急襲しました。この事件は本能寺の変と呼ばれ、戦国時代の大きな転換点となりました。
問12	答え 2 刀狩令 ― 農民による一揆を防止し、農業に専念させるため	豊臣秀吉は、農民が武器を持って反抗（一揆）することを防ぐために、刀や鉄砲などの武器を没収する「刀狩令」を出しました。これにより、農民を耕作に専念させて年貢を安定的に確保しようとする狙いがありました。選択肢にある他の法令は、いずれも江戸時代に徳川幕府が制定したものであり、対象や時代背景が異なります。
問13	答え 3 石高	豊臣秀吉は全国の土地の広さや等級を統一した基準で調査する太閤検地を行いました。それまでは地域ごとに基準が異なっていましたが、予想される収穫量を「石」という単位で表すこの仕組みに統一されたことで、全国の生産力が明確になり、それを基に年貢の徴収や軍役の割り当てが行われるようになりました。